



## 防災の日

9月1日は防災の日。

研修日では新組織になって初めて避難経路、防災隊編成、緊急連絡先などについて話し合いました。つい先日台風18号が大きな被害をもたらしました。

今回は台風が来たときの対処法を紹介したいと思います。

!! 家の中にいたら !!

- 雨戸やシャッターを閉める。
  - ラジオやテレビ、インターネットなどで最新の気象ニュースや災害情報をチェックする。
  - いつでも避難できるように雨具や非常用品などの準備。
  - ときどき屋外の様子を見て、浸水などの危険がないかを確認。
  - 浸水に備えて生活用品や家財道具を高い場所に移動。
  - 自治体などから避難勧告や指示が出されたら、すみやかに避難。
- !! 外出していたら !!
- 局地的豪雨があった場合、浸水の危険性が高い地下街や地下空間への避難は避ける。
  - 雨や風がおさまっても、河川やがけの近くなど、水害や土砂災害の危険がある場所に近づかないようにする。
  - クルマを運転中の場合は、アンダーパスや地下道路の通行はなるべく控える。

この当たり前があなたの命を救えるかもしれません。

## 会長より半生が悪しき反省にならないために

サラリーマンは人生の半分を職場で働いている。その職場生活が充実して働くことができたか否かで半生が幸せであったか否かがきまる。半生が悪しき反省にならなければならない。

会社の理念や仕事内容、待遇などを判断して就職したのだが、思うように能力を発揮できない。最初は希望に燃えて出社したが、挨拶しても同僚からは返事が返ってこない。次第に職場の同僚とも親しくなれず出社しても黙って席につき、同僚からも声をかけられなくなった。仕事もミスが出たり上司からも注意されたりした。それでも言われたことは何とか出来たので、中の下位の成績で10年15年と年功をかさね目出度く定年退職した。半生を振り返ってみるとああすれば良かった、こうすれば良かったと反省することが多い。

A君は希望に燃えて入社して以来、言われたことはしっかり理解して正確に仕事を消化していった。疑問点は上司に質問し、先輩にも相談したりしていつも前向きに仕事に取り組んだ。いつも明るい挨拶がさわ

やかで同僚からも好感をもたれた。彼の主義は仕事を早く覚えて新しい仕事をもらうことだ。毎日が楽しく生きがいが持てた。10年15年と年功を重ねるうちに役職にも付き、リーダーとして更に高い研修にも参加させてもらった。理念の行動指針も自分の行動に結びつけて実践した。目標をもって生活すると毎日に張りが持てて、さらなる向上心が湧いてきた。理念にある自己成長ができたと思う。定年になり半生を振り返りほんとに良くやったな・・と感慨無量であった。

人生には山あり谷ありである。毎日の生活習慣が心の奥底の「深層心理」に蓄積され、良いことも悪いことも自分と言う個性となっていく。深層心理すなわち「我」は強ければ弊害となり、恕の心「大きな愛」が強ければ喜びとなる。仕事は修業の場である。ステークホルダーの喜びのため苦労することは自身の喜びとなるのである。半生を振り返り「人生これで良かった」と思える毎日の生活習慣を実践していきたい。

会長 太田 顯

